

## 事例 薪ストーブ



# 「極寒の山間部。 やはり薪が暖まります」



お話を聞きした人

外田洋一さん/おもしろ農民倶楽部

南丹市美山町



- 1) 薪ストーブ
- 2) 薪置き場です
- 3) 煙突施工部

## 薪ストーブは暖かい

使って良かったことといえば、「あったかい」こと。石油ストーブやその他の暖房器具にはない火力があります。おそらくペレットストーブも石油ファンヒーターに近いからここまで暖かくはならないでしょう。これ1つで、1階のお店と2階の住居がじゅうぶん暖かいです。

## 地上 10cm のすきま風

「使ってみて良くなかったこと等ありますか」との質問に、「実はすきま風が吹くんですよ（すきま風？）」「煙を出す排気筒は当然つけていますが、酸素供給のための給気筒をつけなかったんです。薪を燃やしますから、燃えるために必要な酸素をストーブが吸い込むんです。ちょうどこちら辺（地上10cm くらいのところ）をサーッと風が吹くんです。お店なので普段は感じませんが、夜にここで座っていると足もとを風が吹いて寒いです。住居で寝ころんでいたら寒いでしょうね。」との話でした。

## 薪ストーブのあれこれ

北欧の薪ストーブの方が丈夫なので地元産でなくて申し訳ないけど、遠くのものを購入しました。お店で一日中燃やすので、傷んできたストーブの中の金属部分（銀色）を今年全て替えました。約6万円かかりました。もう少しもつと思っていたのですが、思っていたよりも交換の時期が早かったです。また、煙突掃除も毎年1回（約3万円）頼んでいます。夜、2階の住居で火力が弱まってきた時に、わざわざ1階に下りて薪をくべなければならない。2階でちょっと暖めたい時のためにペレットストーブがあるといいかな？と考えています。

## 取材後記 ■ 水野 奈美

地元産手づくりソーセージ工房である、おもしろ農民倶楽部さん。薪ストーブを設置している1階はお店になっています。お店設計の時から、ここでは薪ストーブを置きたい、置くつもりだったというお話でした。ただ、やはり先立つものが必要ですから、石油ストーブと比較して、はるかにコストがかかるようなら薪ストーブは諦めるつもりだったとのこと。その頃は今よりも石油が安かった頃、今なら断然薪がお得です。薪の入手方法も色々教えていただきました。最初の自己調達から、原木を購入する話まで。とても興味深く聞かせていただきました。

## 詳細情報

### 【機器の種類】

メーカー：JOTUL（ヨツール）／型式：F400／購入年：2007年

### 【設置にかかったコスト】

本体、煙突、設置工事全てで約70万円（通常より安く入手）

### 【薪の種類】

広葉樹（ナラ、クリ、クヌギ他）

### 【薪の入手方法】

林業会社が主（美山の藤本林業、江丹産業）  
原木を購入が主 自身でもいくらか切っている

### 【薪の保管方法】

自宅周辺

### 【機器の使用期間】

11月～5月

### 【一冬あたりの燃料消費量及び燃料代】

約7t 原木であれば8t まとめて8万円  
すぐ使える薪なら一束400～500円（1日6～8束）

### 【居住形態（戸建て or 集合住宅）】

戸建て

### 【暖房する空間の広さ（畳何畳分）】

約80畳 2階建て（+ロフト付き）

### 【併用している暖房機器】

なし